

なみだの穴

まはら三桃/作 小峰書店/発

泣くだけ泣いたら、元気がもりもりわいてくる！表題作はじめ、「パワースイーツ」「なみだの捨て場所」など、子どもたちとなみだにまつわる6つの物語を収録する。

レイチェル・カーソン 『沈黙の春』で環境問題を訴えた生物学者

筑摩書房編集部/著 筑摩書房/発

著作の『沈黙の春』で、殺虫剤・農薬などの合成化学薬品が、いかに危険なものであるかを告発して公害問題に警鐘をならし、自然との共生を訴えた生物学者、作家、レイチェル・カーソンの生涯を辿る。巻末エッセイも収録

一人っ子同盟

重松清/著 新潮社/発

一人っ子がめずらしかった昭和のあの頃。きょうだいのいないぼくたちは、小学6年生の春、小さな同盟を結んだ一。昭和40年代の団地を舞台に描く「子どもの情景」。

鈴狐騒動変化城(へんげのしろ)

田中哲弥/著 福音館書店/発

お城の殿様の魔の手から、茶碗屋の娘・お鈴ちゃんを守るための大作戦は、狐のおツネちゃん大活躍で、忍者空飛び、上田は分身、化け物も出るわの手に汗握る大騒動となり…。

スパイスクール <しのびよるアナグマ作戦>を追え！

スチュアート・キプス/著 小学館/発

あこがれのスパイスクールにスカウトされ、おおよろこびで転入した12歳の少年・ベン。しかし転校初日、学校内で何者かに命をねらわれた。はたしてベンは、スパイスクールの生徒として生き残れるのか…？

パンダ ネコをかぶった珍獣

倉持浩/著 岩波書店/発

シロとクロの理由、妙に丸い顔、タケで生きている不思議…。パンダ飼育係10年の著者が、最新の研究知見や繁殖の舞台裏、マスコミとの葛藤を交えつつ、生きものとしてのパンダの全貌をストレートに語る。

わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。 未来をうばわれる2億人の女の子たち

久保田恭代/著 合同出版/発

「女の子だから学校に行けない」「女の子だから家事使用人として労働させられる」…。国際NGOの一員であるプラン・ジャパンのメンバーが、世界各地で知り合った女の子たちをとりまく困難な状況を伝える。

さらば、哀しみのドラッグ

水谷修/著 高文研/発

学校現場や夜回りで出会った子どもたちの事例をもとに、覚せい剤やシンナー乱用の実態とその依存症がどのようなものかをまとめ、薬物乱用への対処法を紹介する。危険ドラッグの本当の姿と危険性について加筆した増補改訂版。

だいじな本のみつけ方

大崎梢/著 光文社/発

大好きな作家の新刊発売を楽しみにしていた野々香は、学校の手洗い場で忘れ物の本をみつける。それは、まだ発売されていないはずの最新刊だった！

